

2000年のセラチア院内感染後、このことを風化させまいと2001年から開始した医療介護安全大会も、今年で16回目を迎えます。新しくできたみみはらホールでの開催です。ぜひ、ご参加ください。

**チームで取り組む医療介護の安全**  
—事故にしないために私たちができること—



記念講演；長谷川 剛 医師  
(上尾中央病院院長補佐・情報管理部長)

そのほか チーム連携で患者A氏の生活をささえている事例を  
鳳C、訪問ST、CPC深井・泉北、タンポポ薬局から報告します。

2016年7月16日 (土) 午後2時～5時  
耳原総合病院2階みみはらホール

社会医療法人 同仁会

第16回 同仁会G・医療介護安全大会

7月10日 選挙に行って  
政治を変えよう



参議院選挙投票方法

**比例代表**

政党名を書きます。  
政党名でも個人名でも投票できます。

**選挙区**

候補者の名前で投票します。

未来をかける一票

選挙ではよく「歴史的な選挙」という表現を使いますが、今度の参議院選挙は正真正銘の「はじめて経験する選挙」となります。戦争法をめぐり押しつけて「戦争する国」に突き進むところにいる安倍政権に対し、多くの国民とともに野党が「立憲主義」「憲法9条」を守るために共闘してのぞむ選挙です。日本を「戦争する国」にさせないために、憲法を守る一票を投じましょう！

耳原で働く青年職員たちの声

● 政治を変えるのは私たち

安部政権発足後私たちの生活は変わりましたか？景気は良くなっていると感じていますか？私はずっと良くなった実感がありません。しかも消費税を10%にする



やりと感じている気持ちを行動へ移してみませんか。  
〔耳原総合病院・看護師〕

● 税金の使い道  
あらためるチャンス

利用者さんに提供する介護サービス、介護従事者の働き方、全ては国の介護保険制度によって決められています。低い介護報酬のもとでの介護職の賃金水準は低く、そのため慢性的な人手不足となっています。高齢者は介護が必要な状態になっても十分なサービスが受けられず、その家族が負担を強いられています。社会保障充実のために消費税8%に上げたのにもかかわらず、逆に悪くなっています。今の政府は憲法改正して戦争する国にしようとしています。戦争するために税金使つたら、みんなの生活や働き方を良くすることに税金を使つてほしいです。7月の参議院選挙は政治を変えるチャンスです。  
〔介護老人保健施設みみはら・介護福祉士〕

私たちと共に安全・安心の医療・介護をめざしませんか？

求人・紹介 大募集！

助産師

応募資格：助産師の有資格者(60歳まで)  
来春資格取得見込み者

勤務地：耳原総合病院

【問い合わせ・応募先】

社会医療法人同仁会 耳原総合病院

師長室(担当：小谷) 電話：072-241-0501 内線315



登録ヘルパー

応募資格：ヘルパー2級以上(60歳まで)  
初心者でも歓迎します

勤務地：同仁会各ヘルパーステーション(堺市内)

【問い合わせ・応募先】

社会医療法人同仁会 介護保険事業部

(担当：地道) 電話：072-244-7140

助産師、ヘルパーをご紹介いただいた方には謝礼を進呈中！  
詳しくはお問い合わせ下さい

シリーズ  
現場からの  
視点

その16

気軽に相談でき、地域の健康に貢献できるセンターめざして

高砂クリニック健康サポートセンター

してきました。  
高砂クリニックは小規模病院に匹敵する小児科・整形外科を含む大規模診療所です。子どもからお年寄りまで、地域の健康度を高めるための「相談所」をめざしています。  
\* 高齢化が進み、生活は楽になりそうにない不安定な世の中です。だからこそ、気軽に相談をつけられる外来を展開していきます。病気があっても上手にすごせるよう、自分の力をもっと引きだせるよう、「やれば体の調子よくなるんだね」と感じていただけませんか？一人でもふえるよう、サポートさせていただきます。将来的には職員や地域住民の健康度にも貢献できるチーム作りが目標です。  
\* 病気を抱える方にとって「食べて、寝て、動く」などの生活習慣の見直しは特に大事です。「健康サポートセンター」は高砂クリニックの新しい顔になれるよう、歩き始めたところです。ぜひ、みなさんからの声をお聞かせください。  
(みみはら高砂クリニック所長 緒方浩美)

「健康サポートセンター」、耳慣れない名前です。高砂クリニックへ引越してきました。診察までの流れが一般診と違うことをアピールする意図で名称を変更しました。  
\* 受付・採血・検尿・看護問診や健康運動指導士による体組成評価や運動指導、管理栄養士の聞き取りや栄養相談、医師の診察と時間はかかりませんが、薬だけではなく、患者さんが自分自身で次の目標を考へてもらえるようサポートする診療をチームで行っています。医師の指示があれば、運動療法室で体操や筋力トレーニング、自転車こぎなど診察日以外にも来院していただけるよう外来展開しています。  
耳原鳳クリニックと同様、15年前から糖尿病外来は別称「健康サポートセンター」として糖尿病のみならず生活習慣病と患者さんが向き合ってもらえる外来づくりをめざ